

研究トピックス

ソラマメを中山間地域の特産野菜に!!

露地マルチ栽培する大莢ソラマメは、中山間地域に非常に適していることがわかりました。春先の低温を活用することで、3か月強で省力的に栽培でき、育苗も容易です。また、収穫及び出荷調製にそれほど労力を要さず、鳥獣被害の少ない作物です。

道の駅など直売所を飾る初夏の野菜として期待されています。(山間農業研究所)



体細胞クローン牛お母さんになる!

3月16日に、体細胞クローン牛が雌子牛を無事出産しました。母牛は2002年1月に誕生し、当场で育成して来ました。きわめて順調に発育し、昨年6月の人工授精により受胎・分娩したものです。このことにより正常な繁殖性を持つことが示されました。今後は泌乳成績を始めとした能力を確認するとともに、子牛の発育を見守っていきます。(畜産研究部)



子牛:ミント、母牛:アイ・フォーチュン

太陽光発電を利用した堆肥化

家畜ふんを短期間で高品質の堆肥にするには下部からの通気が有効で、一般的には連続通気がおこなわれています。今回、太陽光発電を通気に利用して、昼間8時間の通気をおこなったところ、連続通気と同じように堆肥化が進むことがわかってきました。(畜産研究部)



水分を60~70%に調製して、3~4週間、昼間8時間の通気をおこない毎週切返します。

養液栽培の病害対策

酸化チタンを利用した光触媒による養液の殺菌を研究しています。養液栽培では、ピシウム菌、疫病菌などの藻菌類による病害が問題となっていますが、現在検討している光触媒式水質浄化装置を利用すると、アオコの発生もなく、病害の発生を抑制できることがわかりました。

(環境基盤研究部)



編集・発行

愛知県農業総合試験場

〒480-1193愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1

TEL 0561-62-0085 内線323 (企画普及部)

FAX 0561-63-0815

<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>